

日本映画上映会の御案内

2013年11月11日

2012年より、在南アフリカ共和国日本大使館と日本研究センターは、日本文化の更なる発信を目的とし、日本研究センターが設置されているプレトリア大学ビジネススクール (Gordon Institute of Business Science) において、定期的に日本映画上映会を実施しております。

その第10回目として、12月8日(日)午後2時より、「ALWAYS 三丁目の夕日 '64」を上映することと致します。

上映作品は日本語音声・英語字幕です。入場は無料です(4. 無料チケットについて参照)。

なお、会場ではDVDを校内の視聴覚機材を使用してスクリーンに映し出す方式を採用するため、一般の商業映画館での映画上映とは雰囲気が異なりますことを御了承ください。

1. 日時

12月8日(日) 午後2時

2. 会場

プレトリア大学ビジネススクール

(Gordon Institute of Business Science ;
26 Melville Road, Illovo, Johannesburg)

3. 上映作品(日本語音声・英語字幕)

ALWAYS 三丁目の夕日 '64 (2012年、
142分、製作会社: 「ALWAYS 三丁目の夕日 '64」
製作委員会

監督 山崎貴

出演: 吉岡秀隆、堤真一、小雪 ほか

あらすじ: 昭和39年(1964年)——東京オリンピックが開催されるこの年。オリンピックを控えた東京は、ビルや高速道路の建築ラッシュとなり、熱気に満ち溢れていました。そんな中、東京下町の夕日町三丁目では、5年前と変わらず、個性豊かな住民たちが元気に暮らしています。

小説家の茶川竜之介(吉岡秀隆)は、ヒロミ(小雪)と結婚し、高校生になった古行淳之介(須賀健太)と3人で仲良く生活していました。茶川商店の一角は改装され、ヒロミがおかみを務める居酒屋「新山藤」ができています。ヒロミは身重で、もうすぐ家族が一人増える様子。茶川は、「冒険少年ブック」の看板作家として、連載を続けていますが、新人小説家の作品に人気を奪われつつありました。編集者の富岡(大森南朋)から、「もっと新しい雰囲気で」と言われた茶川は、またまたスランブ気味……。

一方、鈴木則文(堤真一)とその妻・トモエ(薬師丸ひろ子)、一人息子の一平(小清水一揮)、住み込みで働く星野六子(堀北真希)が暮らす鈴木オートは、順調に事業を拡大し、店構えも立派なものに。六子にも後輩の従業員ができ、厳しく指導をする姿はすっかり一人前。彼女無しでは鈴木オートの仕事は回らないほどです。そんな六子は、毎朝おめかしをして家を出て行きます。それは、通勤途中の医者・菊池孝太郎(森山未來)とすれ違い、朝の挨拶をかわすためでした。六子のほのかな恋心を温かく見守るのは、大田キン(もたいまさこ)。そして、小児科医・宅間史郎(三浦友和)は、今日も町の人のために診療を続けています。

そんな折、茶川が隠していた、とある電報をヒロミが見つけてしまいます。果たして電報の主は誰なのでしょう? また、新人小説家の意外な正体とは? 一方、六子の恋の行方は? そして、三丁目の人たちにはどんな未来が待ち受けているのでしょうか?



(C)2012「ALWAYS 三丁目の夕日'64」製作委員会

4. チケットについて

入場は無料ですが、席に限りがありますので、先着順とさせていただきます。

チケットの申し込みは、11月12日(火)より日本大使館広報文化センターの e-mail アドレス (info@pr.mofa.go.jp) で受け付けます。チケットはお一人様4枚まで申し込み可能です。申し込み締切は12月1日(日)とさせていただきます。

5. お問い合わせ先

在南アフリカ日本大使館 文化班 西島

TEL: 012-452-1500 FAX: 012-460-3880

Email: shota.nishi.jima@mofa.go.jp